

令和 6 年度

野田健康福祉センター運営協議会資料

総務企画課

	ページ
1 庶務業務・・・・・・・・・・	1
2 医療機関立入検査・・・・・・・・	1
3 薬事監視・・・・・・・・・・	1
4 毒物劇物監視・・・・・・・・・・	2
5 地域保健医療計画推進事業・・	2
6 広告啓発事業・・・・・・・・・・	2
7 統計調査等事業・・・・・・・・・・	3
8 学生等の保健所実習・・・・・・・・	4
9 健康福祉センター運営協議会等 の開催・・・・・・・・・・	4
10 地域防災対策・・・・・・・・・・	5

地域保健福祉課

	ページ
1 保健師関係指導事業・・・・・・・・	6
2 母子保健事業・・・・・・・・・・	7
3 成人・老人保健事業・・・・・・・・	8
4 一人ひとりに応じた健康支援事業	9
5 総合的な自殺対策推進事業・・	9
6 地域・職域連携推進事業・・	9
7 難病相談事業・・・・・・・・・・	11
8 栄養改善事業・・・・・・・・・・	11
9 歯科保健事業・・・・・・・・・・	14
10 精神保健事業・・・・・・・・・・	14
11 肝炎治療特別促進事業・・	15
12 難病対策事業・・・・・・・・・・	15
13 民生委員・児童委員・・・・・・・・	15
14 児童福祉・・・・・・・・・・	15
15 ひとり親家庭等福祉・・・・・・・・	15
16 高齢者福祉・・・・・・・・・・	16
17 障害児福祉・・・・・・・・・・	16
18 配偶者暴力・・・・・・・・・・	16
19 戦傷病者の援護・・・・・・・・・・	16
20 中核地域生活支援センター事業・	17
21 生活保護法・・・・・・・・・・	17

健康生活支援課

	ページ
1 結核予防事業・・・・・・・・・・	18
2 感染症予防事業・・・・・・・・・・	19
3 感染症予防対策事業・・・・・・・・	20
4 結核・感染症発生動向調査事業・	20
5 エイズ予防対策事業・・・・・・・・	20
6 原爆被爆者対策事業・・・・・・・・	21
7 石綿による健康被害の救済給付 制度・・・・・・・・・・	21
8 食品衛生指導事業・・・・・・・・・・	21
9 動物取扱事業・・・・・・・・・・	22
10 狂犬病予防事業・・・・・・・・・・	22
11 動物の愛護及び管理事業・・	23
12 環境衛生指導事業・・・・・・・・	23

令和6年度事務事業の進ちょく状況

総務企画課

令和6年9月30日現在

事業名	当年度事業の計画	左の実績（進ちょく状況）
1 庶務業務	(1)収入・支出予算を適正に執行する。 (2)公有財産を適正に管理する。 (3)契約事務を適正に執行する。 (4)職員の人事、給与、旅費、福利厚生 of 管理を行う。	(1)予算の執行状況（一般会計） ア 収入 調定額 2,780,522円 収入済額 2,780,522円 収入未済額 0円 不納欠損額 0円 イ 支出 予算額 31,927,045円 支出負担行為額 13,876,460円 執行率 43.46% (4)職員数 センター長兼保健所長 1名 副センター長兼保健所次長 2名 主幹 0名 総務企画課 5名 地域保健福祉課 10名 健康生活支援課 11名 本務職員計 29名 兼務職員計 28名 合計 57名 ※育休2名含む
2 医療機関 立入検査	医療機関への立入検査等を行う。 (1)病院への立入検査 9月～12月 10件(病院8件、有床診療所2件) (2)新規開設した診療所の検査 (3)医療に関する相談・苦情対応	医療機関への立入検査等を行った。 (1)病院8件、有床診療所2件に立入検査の様式を送付した。 病院2件に立入検査を実施した。 (2)新規開設した一般診療所1件の検査を実施した。 (3)医療に関する相談・苦情12件について、助言、事実確認等の対応を行った。
3 薬事監視	薬局及び医薬品販売業者等への立入検査を行う。 (薬局・医薬品販売業合せて80件)	薬局・店舗販売業・卸売販売業等を対象に、立入検査を428件(薬局45件・医薬品販売業12件)実施した。違反件数は38件あり、指導した。

事業名	当年度事業の計画	左の実績（進ちょく状況）
4 毒物劇物監視	毒物劇物営業者への立入検査を行う。 (60件)	毒物劇物販売業等を対象に立入検査を33件実施した。違反件数は8件あり、指導した。
5 地域保健医療 計画推進事業	地域の保健医療体制について検討することを目的とし、「地域保健医療連携・地域医療構想調整会議」を設置し、会議を開催する。(年2回及び小委員会を開催予定(時期未定)) ※事務局は松戸健康福祉センター	令和6年度第1回東葛北部地域保健医療連携・地域医療構想調整会議を令和6年8月27日に開催した。(Web開催) ※事務局は松戸健康福祉センター
6 広報啓発事業	野田健康福祉センターの業務・保健衛生に係る情報について広報・啓発する。 (1)野田健康福祉センター(保健所)ホームページへ情報掲載する。 (2)令和5年度事業年報を発行する。 (令和6年10月予定) (3)「市報のだ」へ業務に関する周知事項を掲載する。	健康福祉センターの業務・保健衛生に係る情報について広報・啓発した。 (1)野田健康福祉センター(保健所)ホームページへ情報を掲載した。(随時更新) (2)令和5年度事業年報を発行し、ホームページへ掲載予定。(発行・ホームページ掲載10月) (3)「市報のだ」に業務に関する周知事項を掲載した。

事業名	当年度事業の計画	左の実績（進ちょく状況）
7 統計調査等事業	健康福祉に関する以下の統計調査を行う。 (1)人口動態調査 野田市分の出生・死亡・死産・婚姻・離婚の5事象の統計(毎月) (2)衛生行政報告例 不妊手術、人工妊娠中絶手術の状況等についての報告(5月報告) (3)地域保健・健康増進事業報告 令和4年度における保健所及び野田市の公衆衛生活動状況の統計(5月報告) (4)国民生活基礎調査 令和6年度は該当地区あり (5)医療施設動態調査 管内の病院・診療所の施設・機能についての報告 (6)病院報告 管内の病院の種別・病床数・患者の利用状況等についての報告 (7)三師・保助看等調査 管内の医師・歯科医師・薬剤師及び管内に従事している保健師・助産師・看護師・准看護師・歯科衛生士・歯科技工士についての報告(2年に1回 12月31日現在)	健康福祉に関する以下の統計調査を行った。 (1)人口動態調査 野田市からの報告を審査し、オンライン及び紙により県を經由して厚労省に報告(毎月) (2)衛生行政報告例 母体保護指定医が作成した報告書について電子ファイルにより県を經由して厚労省に報告(5月) (3)地域保健・健康増進事業報告 令和4年度における保健所と野田市の公衆衛生活動状況について電子ファイルにより県を經由して厚労省に報告(6月) (4)国民生活基礎調査 調査員を任命し調査を実施。(郵送及びインターネットで回答) (5)医療施設動態調査 保健所が報告書を作成し、県を經由して厚労省に報告。(毎月) (6)病院報告 病院からの報告書を審査し、県を經由して厚労省に報告。(毎月) (7)三師・保助看等調査 管内関連施設宛て周知予定(12月)

事業名	当年度事業の計画	左の実績（進ちょく状況）
8 学生等の 保健所実習	看護職員の確保と資質向上を図るため、看護学部等の学生実習を実施する。 合同講義 4月16日(火)3機関22名 9月19日(木)1機関12名 ア 聖徳大学(看護)(6名2日間) イ 和洋女子大学(看護)(5名2日間) ウ 順天堂大学(看護)(12名2日間) エ 東邦大学(看護)(10名2日間) オ 獨協医科大学(医)(2名2日間)(合同講義不参加)	合同講義を4月16日(前期)と9月19日(後期)に行った。(Web開催) 聖徳大学、和洋女子大学及び獨協医科大学について学生実習を実施した。残りの実習についても順次実施予定。
9 健康福祉センター運営協議会等の開催	(1)野田健康福祉センター運営協議会を開催し、センターの運営に関する事項について審議する。 委員構成:市、医療関係団体、福祉関係団体、学識経験者、その他関係機関及び団体の代表者 審議予定事項 センターの事業について ほか (2)地域保健医療連携・地域医療構想調整会議を開催し、管内で発生しうる健康危機を想定し、その対応について検討を行う。	(1)野田健康福祉センター運営協議会を令和6年11月7日(木)に開催予定。 健康福祉センター管内の地域健康保健及び健康福祉センターの運営に関する事項について審議する。 (2)今後開催予定

事業名	当年度事業の計画	左の実績（進ちょく状況）
10 地域防災対策	災害時における情報の収集・提供・医療救護活動支援、保健活動等を実施する地域拠点としての機能強化を図る (1)災害時実働マニュアルの整備 ア 超急性期編の改訂 （人事異動によるもの等、随時改訂を行う） (2)防災行政無線に関する非常通信実施体制の総点検の実施（設備点検、通信訓練） (3)医療救護支援のための医薬品・医療器材の備蓄及び更新。 (4)訓練の実施 ア 情報伝達訓練の実施 （4月・8月） イ 災害時実働訓練 全職員を対象に実施。 (5)野田市で行う訓練等への参加 ア 野田市水防演習 （センター長出席予定） イ 野田市総合防災訓練 発災対応型訓練	以下のとおり実施し、センターの災害時における医療救護活動支援、保健活動等の実施のための機能を強化した。 (1)災害時実働マニュアル等の整備 ア 超急性期編の改訂 令和6年5月の災害時実働訓練の実施を踏まえマニュアルの改訂を行った。 (2)防災行政無線に関する非常通信実施体制の総点検の実施 （設備点検、通信訓練を隔月で交互に実施） (3)医療救護支援のための医薬品・医療器材の備蓄及び更新（随時） (4)訓練等の実施 ア 情報伝達訓練（4月、8月） 電話・チャットラックを併用した訓練を実施 イ 災害時実働訓練（5月） (5)野田市で行う訓練等への参加 ア 野田市水防演習 （日程が合わなかったため不参加） イ 野田市総合防災訓練 （日程が合わなかったため不参加）

事業名	当年度事業の計画	
1 保健師関係 指導事業	(1)保健所保健師活動 家庭訪問等個別指導 医療費助成の申請時等に面接実施 (2)保健師関係研修会 ア 管内保健師業務連絡研究会を開催する。 ① 9月12日 産業保健分野の保健師等の活動情報交換 ② 10月8日 各機関の事業計画 新規事業等について 年間計画について 能登半島地震に係る保健活動報告 ③ 12月13日 地区診断について イ 所内保健師研究会を開催する。 (3回程度)	(1)保健所保健師活動 訪問指導 43件 (感染症13・結核7・難病17・長期療養児6) 訪問以外 面接 108件 (感染症16・結核17・難病34・長期療養児38・その他3) 電話 554件 (感染症307・結核114・難病71・長期療養児54・その他8) (2)保健師関係研修会 ア 管内保健師業務連絡研究会 ① 9月12日開催 ・講演:「企業における事例対応の基本と産業保健師の役割」 事例検討 講師:アサヒプロマネジメント株式会社サステナ推進部健康支援センター 統括保健師 住徳 松子氏 ② 10月8日開催予定 ・職員紹介(新規採用者・異動者等) ・本研究会の年間計画 ・今年度の事業紹介 ・能登半島地震に係る保健活動報告(野田市より) ③ 12月13日開催予定 ・講演:地区診断について 講師:千葉県立保健医療大学 准教授 細谷 紀子 氏 イ 所内保健師研究会 第1回 4月4日開催 第2回 7月16日開催 第3回 令和7年2～3月頃開催予定

事業名	当年度事業の計画	
1 保健師関係指導事業	ウ 保健所保健師ブロック研修会に参加する。 ※習志野保健所が開催 (東葛ブロック保健所で輪番) エ 看護管理者研修会を開催する。 病院の災害時に備えた体制整備	ウ 保健所保健師ブロック研修会 習志野保健所が担当(輪番制)。 8月2日開催 ・講演:災害に備えよう!GISを活用した地域診断について 地理情報システム 講師:大阪医科薬科大学 看護学部 公衆衛生看護学分野 助教授 堀池 諒 氏 ・演習:ちば情報マップについて 講師:千葉県健康福祉部疾病対策課 難病・アレルギー対策班 班長 大関 裕子 氏 ・グループワーク エ 看護管理者研修会 看護管理者会長等と調整の上、開催する。
2 母子保健事業	(1) 母子保健推進協議会を開催する。 (2) 母子保健従事者研修会(年2回) * 第2回は母子保健推進協議会と同日開催予定 (3)小児慢性特定疾病医療費助成の申請事務を行う。 ※対象疾病が788疾病に拡大(令和3年11月1日)	(1)母子保健推進協議会 12月開催予定 (2) 母子保健従事者研修会(年2回) ア 第1回 7月23日開催 (青少年に対するエイズ等性感染症対策事業、思春期講演会と合同開催) ・講演:「子どもたちの声から知る～背景にあるもの・目の前にあるもの～」 講師:悠々ホルン 氏 イ 第2回 12月開催予定 (3)小児慢性特定疾病医療費助成の申請事務を行った。 (受給者144名、新規11件、更新121件、再交付1件、変更20件)

事業名	当年度事業の計画	
2 母子保健事業	(4)小児慢性特定疾病児童自立支援事業 ア 相談指導 ・小慢児童等、家族、その他関係者からの相談への対応 ・訪問相談員の派遣 イ 研修会 対象:小児慢性特定疾患児、家族及び関わりのある市保健師・訪問看護ステーション看護師・相談支援専門員・特別支援担当教諭・市障がい者福祉課職員等 講演:「移行期医療について」 (5)思春期保健相談事業 ア 思春期講演会 (6)人工妊娠中絶・不妊手術届出を毎月集計し、県に報告	(4)小児慢性特定疾病児童自立支援事業 ア 相談指導 小児慢性特定疾病医療費助成の手続きや、訪問看護ステーションからの訪問記録から相談実施。 (訪問 6回 面接 38回 電話 54回) イ 研修会 7月31日開催 ・講演1:「移行期にむけた準備と取り組み ―患者家族として―」 講師1:有機酸・脂肪酸代謝異常症の患者家族会「ひだまりたんぽぽ」代表 柏木 明子氏 ・講演2:「大人になるあなたと保護者の方へ 大人になる準備」 講師2:千葉県こども病院 成人移行支援室 看護師 堂前 有香氏 (5)思春期保健相談事業 7月23日開催 (青少年に対するエイズ等性感染症対策事業、母子保健従事者研修会と合同開催) ・講演:「子どもたちの声から知る～背景にあるもの・目の前にあるもの～」 講師:悠々ホルン 氏 (6)人工妊娠中絶届出・不妊手術実施届出及びを毎月受理し、年報を衛生行政報告に報告する。 (人工妊娠中絶届出数 61件(内投薬件数 4件)・不妊手術 2件)
3 成人・老人保健事業	(1)介護老人保健施設実地指導 介護老人保健施設への実地指導 (2)がん検診推進員育成講習会の実施 対象:市町村の推進員等 ※今年度松戸保健所が担当 (野田保健所と松戸保健所とで輪番)	(1)介護老人保健施設実地指導 松戸保健所(監査指導課)に同行し、今年度 5施設に実施見込み。 9月4日に1施設実施済み (2)がん検診推進員育成講習会の実施 対象:野田保健所・松戸保健所管内の市町村の推進員等 ※松戸保健所が開催 8月29日開催 ・講演:「見て!聞いて!知って! 婦人科がんのこと」 講師:聖順会 ジュノ・ヴェスタクリニック八田 院長 八田 真理子 氏

事業名	当年度事業の計画	
3 成人・老人 保健事業	(3)その他のがん対策事業 ア たばこの健康影響について啓発を行う。(リーフレット、啓発グッズ等の配布) イ 改正健康増進法に係る相談および通報の対応を行う。	(3)その他のがん対策事業 ア たばこの健康影響について啓発を行う。 ・所内ポスター掲示 通年 ・講習会で受動喫煙対策実施ガイドについて資料配布及び説明 3回 259名 ・啓発物を配布 6月ポケットティッシュ 200 個 9月ウェットティッシュ 1,000 個 イ 改正健康増進法に係る相談および通報の対応を行う。 ・通報対応 0件、問合せ対応 4件 ・標識ステッカー配布 1件 (計6枚)
4 一人ひとりに 応じた健康 支援事業	健康相談事業として住民からの電話・来所相談に応じる。	一人ひとりに応じた健康支援事業 健康相談として住民からの電話相談に応じた。 (10 件 内訳: その他の疾患3名、その他7名)
5 総合的な自殺 対策推進事業	広報媒体等を活用した相談窓口等の周知	自殺予防週間にあわせ、所内に広報用ポスターを掲示し、冊子やパンフレットを配布した。
6 地域・職域 連携推進事業	地域・職域連携推進事業 (1)野田健康づくり協議会 協議会 日時:6月 (2)野田健康づくり協議会 作業部会 日時:①5月、②9月 (3)連携事業を実施 ア 情報発信:カレンダー等を発行する。 (年内発行予定)	地域・職域連携推進事業 (1)野田健康づくり協議会 令和6年6月18日開催 内容 令和5年度実績報告・今年度の方針 (2)野田健康づくり協議会部会 第1回 令和6年5月20日開催 内容 令和5年度実績報告・今年度の方針(案) 第2回 令和6年9月17日開催 内容 事業所訪問実施報告、啓発物・メンタルヘルス講演会検討等 (3)連携事業を実施 ア 情報発信:カレンダー等発行予定。

事業名	当年度事業の計画	
6 地域・職域 連携推進事業	イ 健康講演会 (柏労働基準協会野田支部との共催) 9月開催 ウ 健康セミナー 日時:9月 対象:管内事業所の従業員 等 テーマ:減塩について エ オンラインフィットネステスト オ 中小事業所向け啓発 カ 協議会構成機関・協力機関の開拓 ・協力機関の新規開拓	イ 令和6年9月18日開催。 共催機関:柏労働基準協会野田支部 15機関 24名参加 開催場所:野田地域職業訓練センター ・講演:「目指せ産業アスリート! 業務を効率化させる心と身体のトレーニング」 講師:東京理科大学 教養教育研究院 教授 柳田 信也 氏 ・講演:「仕事と治療の両立支援」 講師:柏労働基準監督署 安全衛生課長 篠田 一 氏 ウ 令和6年9月3日開催。 14名参加 (栄養改善事業「地域における健康づくり推進事業」と合同開催) 開催場所:SUMCOテクノロジー株式会社 ・講演及び体験:「健康セミナー ～あなたの食塩味覚感受性を調べてみよう～」 講師:千葉県野田保健所 地域保健福祉課 栄養指導員 エ 啓発物に掲載。管内2事業所が健康経営の一環として実施。 オ 中小事業所へ訪問を実施。 4事業所へ訪問実施。 第2回作業部会で実施報告・検討を行った。 今後、訪問先事業所へ健康づくりに関する情報提供等を実施予定。 カ 構成機関・協力機関を適宜追加していく。

事業名	当年度事業の計画	
7 難病相談事業	難病相談事業 (1) 訪問相談員事業 ア 訪問相談員派遣:24回 イ 訪問相談員育成:2回 (2) 医療相談事業:1回 (3) 在宅療養支援計画策定・評価会議:2回 (4) 訪問指導事業	(1) 訪問相談指導事業 ア 訪問相談員派遣:訪問相談員5名、対象患者18人、派遣回数11回 イ 訪問相談員育成: ①8月15日実施 28名参加(訪問相談員、医師、看護師、ケアアマネ等) 難病患者災害対策講演会(講演会、意見交換) ②3月開催予定 (2) 医療相談事業: 9月30日(月)実施 35名参加(患者、家族等) 神経難病について学ぶ会 ・第一部 講演:「神経症状からフレイルを理解する」 講師: 鎌ヶ谷総合病院 脳神経内科・神経難病医療センター長 湯浅 龍彦 氏 ・第二部 講演:「誤嚥を防ぐ食事の工夫」 講師: 鎌ヶ谷総合病院 摂食嚥下障害看護認定看護師 及川 翔太 氏 ・相談会 ・発声訓練 鎌ヶ谷総合病院 呼吸・発生トレーナー 岩崎 優樹 氏 (3) 在宅療養支援計画策定・評価会議: ア 5月30日開催 イ 3月開催予定 (4) 訪問指導事業:17回(保健師による訪問)
8 栄養改善事業	(1) 健康増進(栄養・運動等)指導事業 ア 病態別個別指導 イ 病態別栄養教室 対象:難病患者、家族 内容:講演会、相談会 * 難病相談事業と共催 ウ 地域における健康づくり推進事業 対象:食関係者、健康づくり関係者 時期:9月 方法:研修会 内容:望ましい生活習慣の周知により食環境整備を図る。 * 地域・職域連携推進事業と共催	(1) 健康増進(栄養・運動等)指導事業 ア 病態別個別指導 0件 イ 病態別栄養教室 (難病相談事業と共催) 神経難病について学ぶ会(講演、相談会、発声訓練) 9月30日(月)実施 35名参加(患者、家族等) ウ 地域における健康づくり推進事業 健康セミナー ～あなたの食塩味覚感受性を調べてみよう～ 9月3日(火)実施 14名参加 (SUMCOテクノロジー(株)従業員)

事業名	当年度事業の計画	
8 栄養改善事業	エ 健康増進法や食品表示法に基づく食品表示相談及び指導を随時実施する。 オ 国民健康・栄養調査 地区指定があった場合に実施する。 時期:11月 (2)給食施設指導 特定給食施設等に対し、適切な栄養管理が実施されるよう助言・指導を実施する。 給食運営現況報告(5月実施) 栄養管理状況報告(11月実施) ア 給食施設従事者等研修会 ①給食施設従事者研修会 対象:施設長、従事者等 時期:6月 方法:ウェビナー(YouTube配信) 内容:給食施設における衛生管理 ②給食施設栄養士研修会 対象:施設長、(管理)栄養士等 時期:令和7年1月 方法:オンライン(ZOOM配信) 内容:講演「(仮)日本人の食事摂取基準2025年版の運用について」 講師 女子栄養大学 上西 一弘 氏 イ 特定給食施設等への個別巡回指導 対象施設数:80施設(医療機関立入含む)を3年間で1回以上	エ 食品事業者へ健康増進法や食品表示法に基づく食品表示相談: 3件 指導: 0件 オ 国民健康・栄養調査 該当なし (2)給食施設指導 特定給食施設等に対し、適切な栄養管理が実施されるよう助言・指導を実施した。 給食運営現況報告(5月実施): 79施設 栄養管理状況報告(11月予定): 80施設予定 ア 給食施設従事者研修会 ①給食施設従事者研修会 6月24日～7月31日実施 ・対象:給食施設(施設長、従事者等)79施設 ・方法:ウェビナー(YouTube配信) ・内容:講演 第1部「給食施設における衛生管理について」 第2部「令和5年度給食施設栄養管理状況報告書について」 ・結果:視聴報告者数 106名 動画視聴回数 第1部 231回、第2部 145回 ②給食施設管理者・栄養士研修会 令和7年1月頃実施予定 ・対象:管内給食施設の施設長、(管理)栄養士等 ・方法:オンライン(ZOOM配信) ・内容:講演:「(仮)日本人の食事摂取基準2025年版の運用について」 講師:女子栄養大学 上西 一弘 氏 イ 特定給食施設等への個別巡回指導 実施施設数:26施設 別途、栄養管理状況を「給食施設栄養管理確認表」で把握した。(対象:病院除く72施設)

事業名	当年度事業の計画	
8 栄養改善事業	(3)健康ちば協力店推進事業 ア 新規登録の受付 イ 事業の普及啓発 啓発物の配布 (4)栄養関係団体等への育成・支援 ア 野田市食生活改善推進員(※依頼あった場合) イ 千葉県調理師会野田支部 千葉県調理師講習会(※依頼あった場合) ウ 調理師試験・調理師免許関係 ①調理師試験願書受付 ②調理師免許申請事務 エ 管内栄養業務連絡会 対象:行政栄養士等 時期:6月 方法:会議(対面) 内容:情報交換「健康づくり・栄養改善事業について」 オ 学生実習指導 該当なし	(3)健康ちば協力店推進事業 ア 新規登録 0件 全登録店舗数 1件 イ 事業の普及啓発 講習会で啓発物の配布及び説明 3回259名に配布 (4)栄養関係団体等への育成・支援 ア 野田市食生活改善推進員 実績なし イ 千葉県調理師会野田支部 実績なし ウ 調理師試験・調理師免許関係 調理師法に基づく免許、調理師試験関係事務 ①調理師試験願書受付 日程:5月20日～5月24日(消印有効) 郵送受付:14件 ②調理師免許申請事務 新規 9件、書換 2件、再交付 6件、英文証明 1件 エ 管内栄養業務連絡会 6月13日実施 5機関 7名出席 方法(場所):野田市保健センター会議室 内容:情報交換「健康づくり・栄養改善事業について」 オ 学生保健所実習の指導 該当なし

事業名	当年度事業の計画	
9 歯科保健事業	普及啓発 歯科保健に関する普及啓発を行う。	普及啓発 所内で歯科保健に関するポスター掲示やリーフレット配架を行った。
10 精神保健福祉事業	(1)精神保健福祉法に基づく法定事業 ア 申請、通報、届出等による処理を行う。 イ 管内病院からの医療保護入院者の入院届等の進達処理を行う。 ウ 精神科病院実地指導(管内3病院) (2)精神保健福祉相談 ア 精神科嘱託医師による相談日を開設する。 (月2回:第2金曜日、第4金曜日) イ 精神保健福祉相談員による相談を行う。 ※措置患者支援、訪問、面接、関係機関調整、ケースカンファレンスを行う。 (3)地域精神保健福祉関係事業 ア 千葉県精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業(業務受託事業所である江戸川病院に対する助言及び運営支援) イ 措置入院患者の退院後支援の実施	(1)精神保健福祉法に基づく法定事業 ア 申請、通報、届出等による処理を行った。 (5件) 措置入院 3件、措置入院不要 0件 診察不要 2件 イ 管内病院からの医療保護入院者の入院届等の進達処理を行った。 措置入院定期病状報告書 2件、 入院届 178件 退院届 150件、入院更新届 33件 ウ 精神科病院実地指導(管内3病院) 管内病院:江戸川病院、岡田病院、木野崎病院に実施予定。 (2)精神保健福祉相談 ア 精神科嘱託医師による相談(月2回:第2金、第4金) 相談件数: 実4件 (延4件) イ 精神保健福祉相談員による相談 来所40件、電話378件、電子・メール 0件、訪問相談16件 等 随時対応 (3)地域精神保健福祉関係事業 ア 千葉県精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業 ・実務者会議等の出席および運営に関する助言。 実務者会議への出席: ①5月22日 ②7月24日 ③9月25日 イ 精神障害者の退院後支援マニュアルに基づく支援の対象者0名。 (通常支援2名、調整中1名)

事業名	当年度事業の計画	
11 肝炎治療特別促進事業	医療費助成事業 医療費助成事務及び療養費支払を行う。	医療費助成事業 医療費助成事務及び療養費支払を行った。 申請受付 34件（新規9、更新25）（R6.9月受理分まで） 療養費支払 0件 0円
12 難病対策事業	特定医療費（指定難病）医療費助成等の申請事務を行う。 (1)特定疾患:継続申請期間 7月から9月 (2)指定難病(341疾病):新規 通年 継続申請期間7月から12月 (3)特定疾患・指定難病療養費支払い (4)先天性血液凝固因子障害等認定	特定医療費（指定難病）医療費助成等の申請事務を行った。 (1)特定疾患申請数:新規申請 0名、更新申請 2名（R6.9月受理分まで） (2)指定難病申請数:新規申請 106名、更新申請 1,128名（R6.9月受理分まで） (3)特定疾患・指定難病療養費支払 :32件 2,757,272円（R6.6月受理分まで） (4)先天性血液凝固因子障害等認定数 :10名
13 民生委員・児童委員	民生委員・児童委員の委嘱・解嘱事務及び活動費、交付金事務に関する業務 (1)委員の委嘱・解嘱事務及び活動費、交付金事務に関する業務を行う。 (2)民生委員・児童委員活動費支給を行う。 (年1回) (3)民生委員・児童委員協議会及び推薦会交付金支給を行う。(年1回)	民生委員・児童委員の委嘱・解嘱事務及び活動費、交付金事務に関する業務 (1)定数 206名 民生委員・児童委員 190名 主任児童委員 16名 現員 201名 民生委員・児童委員 185名 主任児童委員 16名 (委嘱期間 令和4年12月1日から令和7年11月30日) (2)民生委員・児童委員活動費を12月に支給予定 (3)民生委員・児童委員協議会及び推薦会交付金支給(令和7年3月予定)
14 児童福祉	(1)特別児童扶養手当の認定及び支給業務 ※昨年度同様審査結果の確認を継続し、必要に応じて再審査を要請する。 (2)特別児童扶養手当事務監査 (3)児童手当事務指導監査 2年に1回実施(今年度監査予定あり)	(1)特別児童扶養手当の認定及び支給業務 認定件数 新規・移管 29件（9月末時点） 受給資格者数 270件（9月末時点） 支給停止者 22件（9月末時点） (2)特別児童扶養手当事務監査 12月予定 (3)児童手当事務指導監査 年度内実施

事業名	当年度事業の計画	
15 ひとり親家庭等福祉	母子・父子・寡婦福祉資金の貸付業務等 (1)母子・父子福祉資金貸付審査を行う。 (2)違約金の徴収を行う。 (3)違約金の不徴収審査を行う。	母子・父子・寡婦福祉資金の貸付業務 (1)貸付審査 0件 (2)違約金の徴収 15件 86,700円 (3)違約金の不徴収審査 0件 違約金の収入未済状況 10名 151件 1,410,400円
16 高齢者福祉	(1)満百歳者に対する記念品等贈呈事業 (2)老人福祉施設入所法外援護給付金支給事業 1か月4,700円 年3回支給する。	(1)満百歳者に対する祝品等贈呈事業 対象者39名、表彰状、記念品贈呈予定 (2)老人福祉施設入所法外援護給付金支度事業 支給実人員4人 延人員16人、年に3回(暫定)支給(8月・12月・4月)
17 障害者福祉	(1)在宅重度知的障害者及びねたきり身体障害者福祉手当給付事業 野田市が行う手当の給付に対して補助金の交付を行う。 (2)重度障害児・者日常生活用具取付費補助事業 野田市が行う日常生活用具の取付に必要な経費の補助金の交付を行う。 (3)障害者差別相談事業 障害のある人への差別に関する相談や啓発活動を行う。	(1)在宅重度知的障害者及びねたきり身体障害者福祉手当給付事業 野田市が行う手当の給付に対して補助金の交付を行う。(暫定) ア 在宅重度知的障害者 150名 イ ねたきり身体障害者 0名 (2)重度障害児・者日常生活用具取付費補助事業 野田市が行う日常生活用具の取付に必要な経費の補助金の交付を行う。0件(暫定) (3)障害者差別相談事業 障害のある人への差別に関する相談や啓発活動を行った。(暫定) 相談件数 差別相談 0件(延数0件) その他4件(延数5件) 障害者条例周知活動 30件
18 配偶者暴力相談支援事業	配偶者暴力相談支援事業 DV相談・支援を行う。	配偶者暴力相談支援事業 DV相談・支援を行った。 (1) 電話相談 8名 延 13回 (2) 来所相談 0名

事業名	当年度事業の計画	
19 戦傷病者の援護	戦没者遺族・戦傷病者等の援護事業 (1)戦没者追悼式参列予定(11月13日) (2)手帳保持者からの申請により補装具の給付等を行う。	戦没者遺族・戦傷病者等の援護事業 (1)戦没者追悼式参列(11月13日)予定。 供花贈呈予定。 (2)手帳保持者からの補装具の給付等の申請なし。
20 中核地域生活支援センター事業	中核地域生活支援センター事業 (1)中核地域生活支援センターのだネット運営委員会への助言及び会議運営支援 (2)野田圏域中核地域生活支援センターのだネット連絡調整会議への助言及び会議運営支援	中核地域生活支援センター事業 (1) 令和6年6月21日 (14機関 17名参加)に委員として出席。 (2) 開催時期を検討中
21 生活保護法	生活保護法による被保護児童・生徒の修学旅行支度費支給事業 修学旅行に参加するための費用として支度費の支給を行う。	生活保護法による被保護児童・生徒の修学旅行支度費支給事業 小学生 0名 0円 中学生 0名 0円 計 0円

事業名	当年度事業の計画	左の実績（進捗状況）
1 結核予防事業	(1) 健康診断 家族、接触者及び管理健診の実施…1回/月 (原則) (2) 公費負担申請及び措置への対応 ア 感染症法第19条及び20条(入院患者の医療) イ 感染症法第37条の2(結核患者の医療)	(1) 健康診断 ア 定期健康診断の実施状況:実施中 イ 家族、接触者及び管理健診の実施 ① 保健所実施健診数:0人 ② 結核患者発見数:2人(うち潜在性結核感染症:2人) ③ 事業所等集団健診(再掲) ・対象集団数:5施設 ・対象延人数:79人(保健所実施:0人) ・結核患者発見数:2人(うち潜在性結核感染症:2人) (2) 公費負担申請及び措置状況 ア 感染症法第19条及び20条(入院患者の医療) ① 新規申請件数:2件 ② 延長申請件数:3件 イ 感染症法第37条の2(結核患者の医療) ① 新規申請件数:10件 ② 延長申請件数:4件

事業名	当年度事業の計画	左の実績（進ちょく状況）
2 感染症予防事業	(1) 感染症の予防・防疫 1～5類感染症発生届出への対応 ＊ 発生した場合、まん延防止対策指導、感染源検索等を関係機関と連携し、対応していく。 (2) 各種訓練の実施 ア 防護服着脱等訓練 イ 患者搬送車養生訓練 ウ 新型インフルエンザ発生対応訓練 (3) 感染症予防のための啓発 ア 関係機関への啓発 イ ポスター・ホームページ等を活用した啓発 ウ 研修会の開催	(1) 感染症の予防・防疫 ア 1、2類感染症発生届出数(結核を除く):0件(健康調査対象者 0人、検査実施 0人) イ 3類感染症発生届出数:2件(健康調査対象者 8人、検査実施 7人) 発生届出の転送受理:2件(健康調査対象者 17人、検査実施 14人) ウ 4類感染症発生届出数:2件(健康調査対象者 3人、検査実施 0人) 施設調査の依頼受理:1件 エ 5類感染症発生届出数:6件 ＜届出対象外の健康調査実施数＞ 麻しん疑い 3人、風しん疑い 1人 (健康調査対象者 11人、検査実施 2人) オ 同行調査依頼数:0件(健康調査対象者 0人、検査実施 0人) カ 5類感染症集団発生:19施設、387人 (感染性胃腸炎:4施設 81人、COVID-19:15施設 306人) (2) 各種訓練の実施 ア 防護服着脱訓練 参加28名(4月22日、4月23日、4月25日) イ 患者搬送車養生訓練 参加28名(4月22日、4月23日、4月25日) ウ 新型インフルエンザ発生対応訓練の実施を予定。 (3) 感染症予防のための啓発 ア 関係機関への啓発 ① 野田地域感染症情報の配信(毎月 第2・4木曜日) ② 野田地域感染症情報ネットワークシステム登録者の拡充 49件新規追加 イ 啓発活動 ① 性感染症に係るポスターの所内掲示及びポケットティッシュ等の所内配布 ② 野田地域感染症情報及び保健所ホームページを活用した流行状況等の情報配信 ③ 蚊媒介感染症等に係るポスターの所内掲示 ウ 研修会の開催 ① IHEAT研修会の開催(7月23日) ② 乳幼児施設における感染対策研修会(9月25日) (巡回指導 2回及び第2回研修会を開催予定) ③ 高齢者施設における感染対策研修会の開催予定 (巡回指導 4回及び研修会を開催予定)

事業名	当年度事業の計画	左の実績（進ちょく状況）
3 感染症予防対策事業	(1) 感染症診査協議会 ア 委員:5名 イ 定期:第2、4水曜日開催 ウ 臨時:随時開催	(1) 感染症診査協議会 ア 委員:5名 イ 定期:第2、4水曜日開催:10回 ウ 臨時:FAX診査:2回
4 結核・感染症発生動向調査事業	(1) 結核発生動向調査	(1) 結核発生動向調査 ア 新登録 ① 結核患者:4人 ② 潜在性結核感染症患者:6人 イ 年末時 登録者数:28人
5 エイズ予防対策事業	(1) 講演会 「青少年に対するエイズ等性感染症対策 および母子保健従事者(思春期相談)講演会」 (2) 正しい知識の普及啓発 ア 啓発資料の配布 イ 看護学生実習における講義 ウ 流行状況等に係る情報配信 (3) エイズ相談 電話相談等への対応 (4) HIV検査等 毎月 第1・3 水曜日	(1) 講演会 ア 開催日:令和6年7月23日 イ 参加者:38名(16施設) 〈内訳〉小学校(3校)、中学校(1校)、高等学校(4校)、柏市役所、県型保健所(7施設) ウ 講師:悠々 ホルン氏 (2) 正しい知識の普及啓発 ア エイズに係るポスターの所内掲示及びポケットティッシュ等の所内配布 イ 看護学生に対する所内事業(HIV検査・相談事業)等の情報提供 ウ 野田地域感染症情報及び保健所ホームページを活用した流行状況等の情報配信 (3) エイズ相談 ア 電話相談 7件 イ 来所相談 0件 (4) HIV検査等 ア HIV抗体検査 0人 イ クラミジア抗体検査 0人 ウ 梅毒血清検査 0人 エ B型・C型肝炎検査 0人 * 検査対応職員の確保ができず未実施

事業名	当年度事業の計画	左の実績（進ちょく状況）
6 原爆被爆者対策事業	(1) 被爆者健康診断 年2回実施予定 (2) 被爆者手帳交付 現数:29名 (3) 各種手当給付	(1) 被爆者健康診断 ア 第1回:実施なし イ 第2回:実施なし (2) 被爆者手帳交付 現数:25名 (3) 各種手当給付 ア 医療特別手当受給者:2名 イ 健康管理手当受給者:20名 ウ 保健手当受給者:1名 エ 健康手当(県単)受給者:22名
7 石綿による健康被害の救済給付制度	(1) 石綿による健康被害救済制度に関する申請受付	(1) 石綿による健康被害救済制度に関する申請受付 ア 石綿による健康被害の救済に関する法律認定申請:0件 イ 未申請死亡者に係る特別遺族弔慰金・特別葬祭料請求:0件
8 食品衛生指導事業	(1) 営業許可 営業者からの申請に基づき許可を行う。 (2) 営業施設の調査及び監視指導 許可施設監視指導件数 600件 * 苦情、食中毒疑い、食中毒関連調査に対し、迅速に対応する。 (3) 食品の収去検査 収去検体数 94検体 * 管内施設の状況 許可施設数:1,682件 届出施設数:718件 計:2,400件	(1) 営業許可 ア 新規許可件数:129件 イ 継続許可件数:0件(R3年度の法改正後の継続が新規申請となるため) (2) 営業施設の調査及び監視指導件数 ア 新規営業施設調査:131件 イ 監視指導件数:274件 ① 営業停止:0件 ② 無許可件数:0件 ③ 指導票交付件数:0件 ④ 違反食品:0件 ウ 苦情処理等件数:14件 エ 食中毒処理件数:0件 オ 食中毒関連調査件数:9件 (3) 食品の収去検査 ア 健康生活支援課 ① 収去検体数:0検体 ② 違反検体数:0検体 イ 食品機動監視課 ① 収去検体数:24検体 ② 違反検体数:0検体

事業名	当年度事業の計画	左の実績（進ちょく状況）
8 食品衛生指導事業	(4) 夏期における食中毒等の事故防止対策 ア 食品衛生夏期対策期間の事業推進 6/1から9/30まで イ 夏の食品安全推進月間の実施 7/16から8/15まで ウ 食中毒予防強調期間の実施 8/1から8/31まで エ 食中毒予防パレードの実施 7月 オ 食中毒警報発令制度の実施 ① 食中毒注意報 6/1発令 ② 食中毒警報 県からの発令、解除に基づく カ 食品衛生講習会の実施:6回 (5) HACCPによる衛生管理の推進 食品事業者に対し、HACCP導入時の技術的助言及び導入後の監視指導を行う。	(4) 夏期における食中毒等の事故防止対策 ア 食品衛生夏期対策期間の事業推進 6/1から9/30まで イ 夏期一斉取締りの実施 7/1から7/31まで ウ 食品衛生月間の実施 8/1から8/31まで エ 食中毒予防パレード 対応職員の確保ができず未実施 オ 食中毒警報発令制度の実施 ① 食中毒注意報 6/1発令 ② 食中毒警報 7/9発令 カ 食品衛生講習会の実施:4回 (5)HACCPによる衛生管理の推進 新規施設調査及び監視指導時等に確認及び助言を行っている。
9 動物取扱業	(1) 第一種動物取扱業の登録 事業者からの申請に基づき登録を行う。 ＊ 管内施設の状況 登録施設数:100件 (2) 第一種動物取扱業の監視指導	(1) 第一種動物取扱業の登録 ア 新規登録件数:8件 イ 更新登録件数:13件 (2)第一種動物取扱業の監視指導 ア 監視指導件数:50件 イ 行政措置件数:0件 ① 勧告数:0件 ② 始末書徴収数:0件 ③ 口頭説諭:0件
10 狂犬病予防事業	(1) 犬による危害防止対策事業 苦情等に対し、迅速に対応する。	(1) 犬による危害防止対策事業 ア 苦情受理件数:50件 イ 犬によるこう傷届数:3件 ウ 行政措置等:2件 ① 措置命令書交付数:0件 ② 始末書徴収数:2件 ③ 口頭説諭:0件

事業名	当年度事業の計画	左の実績（進ちょく状況）
11 動物の愛護及び管理事業	(1) 動物の適正な飼養の普及啓発	(1) 動物の適正な飼養の普及啓発 ア 苦情受理件数:77件 ① 猫:77件 ② その他:0件 イ 犬猫引取り頭数:8件 ウ 負傷動物への対応数:0件 エ 動物に関する相談件数:221件 ① 犬:111件 ② 猫:109件 ③ その他:1件
12 環境衛生指導事業	(1) 営業六法関係施設の監視等 ア 興行場 (3施設):3件 イ 旅館 (12施設):12件 ウ 公衆浴場 (13施設):13件 エ 理容所 (116施設):40件 オ 美容所 (202施設):67件 カ クリーニング所 (61施設):30件 (2) 畜舎施設の指導 ア 畜舎 (11施設):11件 (3) 温泉施設の指導 ア 温泉 (3施設):3件 (4) 遊泳用プールの調査 ア 遊泳用プール (2施設):2件 イ 通年営業プール(再掲) (2施設):2件 (5) 特定建築物の立入検査 ア 店舗、学校、集会場等 (40施設):13件 * ()内は施設数	(1) 営業六法関係施設の監視等 ア 興行場:0件〔0件〕 イ 旅館:1件〔1件〕 ウ 公衆浴場:10件〔0件〕 エ 理容所:1件〔0件〕 オ 美容所:48件〔3件〕 カ クリーニング所:0件〔0件〕 (2) 畜舎施設の指導 ア 畜舎:11件〔1件〕 (3) 温泉施設の指導 ア 温泉:0件〔0件〕 (4) 遊泳用プールの調査 ア 遊泳用プール:7件〔5件〕 イ 通年営業プール(再掲):2件〔0件〕 (5) 特定建築物の立入検査 ア 店舗、学校、集会場等: 10件〔1件〕 * []内は新規施設調査